

2022年6月日

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

BK ウイルス腎症発症レシピエントの中長期予後

[研究責任者]

腎臓移植外科 藤原拓造

[研究の背景]

BK ウイルスは通常は病原性のないウイルスですが、腎移植後移植腎に感染し炎症を起こすことが知られています(BK ウイルス腎症)。有効な抗ウイルス剤が確立されておらず、移植腎に悪影響を及ぼすことがあります。当院でも 2000 年 4 月以降に腎移植を行った方に BK ウイルス腎症の発症を認めています。

[研究の目的]

BK ウイルス腎症発症例と発症の無かった例を比較検討し、BK ウイルス腎症の臨床的特徴、発症後の臨床経過探ることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2000 年 4 月 1 日～2018 年 8 月 31 日の間に当院で腎移植を行い、当科に外来通院したレシピエントの方で、小児、早期に廃絶された方、転院された方等を除いた患者さんが対象です。214 名の方が該当しました。

●研究期間

2022 年 6 月 日より 2023 年 7 月 31 日までの予定です。

●カルテ情報

以下の情報をカルテより収集し、BK ウイルス腎症に関係する項目を検討します。

移植時の年齢、性別、腎不全の原因疾患、移植前透析期間、ABO 血液型適合性、HLA ミスマッチ数、サイトメガロウイルス抗体価、ドナー年齢、ドナー性別、ドナータイプ(生体、献腎)、移植前脱感作療法の有無、移植後 1 年以内の急性拒絶反応、サイトメガロウイルス感染症の発症、BK ウイルス腎症の発症(病理診断)、移植後の移植腎機能(eGFR)、移植腎生着率、レシピエント生存率 等

●検体や情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第 58 回日本移植学会等で発表予定ですが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

腎臓移植外科 藤原拓造

電話 086-294-9911 (代表)      FAX 086-294-9255 (代表)